

SDGsによる地方創生の鍵は生物多様性！

Living in harmony with nature を大切にしよう

[日時] 2019年7月22日(月) 18:00～20:30

[場所] カナモトホール(札幌市民ホール)第2会議室
(札幌市中央区北1条西1丁目)

[定員] 50人(参加費無料)



この度、SDGs(持続可能な開発目標)の日本語版の制作に携わられた(株)博報堂DYホールディングスのCSRグループ推進担当部長の川廷昌弘さんの来札の機会を捉え、本講座直前にニューヨーク国連本部で開催されるSDGsに関する「ハイレベル政治フォーラム(HLPF)」からの帰国速報や、宮城県南三陸町で実際にSDGsを体現する「森・里・海・ひと地域資源ブランド推進事業」のプロデュース業務で、国際森林認証FSCと国際養殖認証ASCの日本初のダブル認証取得のサポートについて、お話しいただきます。川廷さんは市民に「生物多様性」を身近に感じてもらうために、CEPA(注)に関する情報共有、推進の場として環境省の意向も汲んで設立された組織(一社)CEPAジャパンの代表でもあります。北海道に欠かせないSDGsと生物多様性の理解について講演いただき、参加者のみなさんとディスカッションも行います。

※ CEPA(セパ)

広報(Communication)・教育(Education)・普及啓発(Public Awareness)。1992年に発効した国際条約「生物多様性条約」第13条のキーワードで、締約国の義務に定められている。

[情報提供]

かわてい まさひろ

(株)博報堂DYホールディングスCSR推進担当部長 **川廷昌弘**さん

兵庫県芦屋市生まれ。1986年博報堂入社。テレビ番組「情熱大陸」の立ち上げに関わる。地球温暖化防止国民運動「チーム・マイナス6%」でメディアコンテンツを統括し、2010年に名古屋で開催された生物多様性条約(COP10)で、CEPAに関するスピーチを行って修正決議を引き出すことに成功。現在はSDGsが主要テーマ。2017年のSDGs国連ハイレベル政治フォーラムでの日本政府の取り組みや、自治体SDGs推進事業などのプロデュース。環境省SDGsステークホルダーズ・ミーティング構成員/グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンSDGsタスクフォース・リーダー/神奈川県顧問(SDGs推進担当)/鎌倉市SDGs推進アドバイザーなど委嘱多数。また、公益社団法人日本写真家協会の会員として「地域の大切な資産、守りたい情景、記憶の風景を撮る」をテーマに活動する写真家でもある。

[お申し込み・お問い合わせ]

北海道地方ESD活動支援センター(環境省北海道環境パートナーシップオフィス内)

TEL:011-596-0921 FAX:011-596-0931 メール:epoh-webadmin@epohok.jp

お申し込みは、下記URLの申し込み専用フォームをご利用いただくか、上記ファックスまたはメールにて、お名前・ご所属・連絡先をお知らせください。(担当:溝渕)

<https://epohok.jp/event/10584>

[主催] 北の里浜 花のかけはしネットワーク・北海道地方ESD活動支援センター